

MSIG Report



三井住友海上グループホールディングス株式会社

MSIG

第2期
中間ご報告

2009.4.1～2009.9.30

～一人ひとり一つひとつを大切に。～



取締役会長
秦 喜秋

取締役社長
江頭 敏明

株 主 の 皆 さ ま へ

「一人ひとり 一つひとつを大切に。」

私たちMSIGは、
一つひとつの仕事

一人ひとりのお客さまとの接点を大切にし、
を心を込めて丁寧に行い、品質向上に努めます。

Q 当中間期の業績について お聞かせください。

A 連結中間純利益は、前中間期を444億円上回る568億円を計上しました。前中間期には、金融危機に関連して欧州保険子会社で大口の保険事故が発生しましたが、当中間期はその要素がなくなったこともあり、海外子会社において大幅な増益となりました。これに加え、三井住友海上(単体)においてほぼ前中間期並みの中間純利益を確保したことから、連結中間純利益も大幅な増益となったものです。

Q 経営統合と今後の成長戦略について お聞かせください。

A 当社は、かねてより協議を進めておりましたあいおい損害保険株式会社(「あいおい損保」)およびニッセイ同和損害保険株式会社(「ニッセイ同和損保」)との経営統合に関し、2009年9月30日に最終合意いたしました。今後、3社で締結した株式交換契約を、2009年12月22日開催予定の株主総会で株主の皆さまにご承認いただき、2010年4月1日に経営統合することで、世界トップ水準の保険・金融グループの創造に向けた第一歩を踏み出したいと考えています。(経営統合の概要については、03ページをご覧ください。)

損害保険事業を取り巻く環境は、少子高齢化社会の到来、ライフスタイルの変化によるお客さまニーズの多様化などの社会的な構造の変化を背景として、自動車保有台数が減少に転じるなど国内市場の成熟化が進んでおり、持続的な成長のためには、事業の多角化やグローバルな事業展開が必須となっております。

一方、消費者保護や商品・サービスの利便性の向上が従来以上に強く求められる中、お客さまのご満足とご支持を得て成長していくためには、より一層の品質向上が必要であり、お客さま対応の充実に向けて、引き続きシステム投資を中心とする経営資源の投入が不可欠な状況にあります。

このような環境下、3社の統合により誕生する新グループ(「統合新グループ」)にあっては、お客さまへの提案力、商品開発・企画力、自動車保険マーケット・チャネルの開発力、事務・システム対応力といった各社の強みや統合新グループの強力な顧客・営業基盤を活かし、国内・海外を通じた高い相互補完性を武器として、大きなシナジーを発揮することが可能となります。

そして、経営統合によるシナジーを活かしてあらゆるマーケットのお客さまに高品質でご満足いただける商品・サービスを提供することにより、お客さまの信頼を獲得し、持続的な成長を実現してまいります。

Q 株主還元についてお聞かせください。

A 当社では、①「グループコア利益」*の40%相当額を目処に、配当と自己株式取得により株主還元を行う、②安定的な配当を維持し中長期的に増配基調を目指す、との方針に基づき、株主の皆さまへの還元を進めています。今回の中間配当金は1株当たり27円とさせていただきます。今後とも還元に関し株主の皆さまのご期待に応えるべく取り組んでまいります。

※1 三井住友海上グループにおける「グループコア利益」の定義
グループコア利益は当社グループ独自の利益指標で、グループのフロー収益力を示しています。

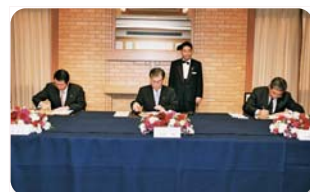
【算出方法】

グループコア利益 = 連結当期純利益 - 株式キャピタル損益 - クレジットデリバティブ評価損益 - 生命保険子会社連結利益 + 三井住友海上きらめき生命標準責任準備金積増前利益 + 三井住友海上メットライフ生命米国会計基準ベースの持分利益 - その他特殊要因 (全て税引後)

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

三井住友海上グループは、 あいおい損保、ニッセイ同和損保 と経営統合します。

※株主総会の承認と関係当局の認可等を前提としています。



調印式の様子

左から ▶あいおい損保:児玉 社長 ▶ニッセイ同和損保:立山 社長
▶当社:江頭 社長

経営統合の目的と目指す企業グループの姿について

経営統合の目的

スピード感を持って飛躍的に事業基盤および経営資源の質・量の強化・拡大を図ることにより、グローバルに事業展開する世界トップ水準の保険・金融グループを創造して、持続的な成長と企業価値向上を実現します。

目指す企業グループの姿

！経営理念（ミッション）=グループの存在意義

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます。

！経営ビジョン=グループとして中期的に目指す姿

持続的な成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します。

！行動指針（バリュー）

経営理念（ミッション）を実現するために社員が行動する際に大切にすることです。

【お客様第一】
CUSTOMER FOCUSED
(カスタマー・フォーカス)

わたしたちは、常にお客様の安心と満足のために、行動します。

【誠実】
INTEGRITY (インテグリティ)

わたしたちは、あらゆる場面で、あらゆる人に、誠実、親切、公平・公正に接します。

【チームワーク】
TEAMWORK (チームワーク)

わたしたちは、お互いの個性と意見を尊重し、知識とアイデアを共有して、ともに成長します。

【革新】
INNOVATION (イノベーション)

わたしたちは、ステークホルダーの声に耳を傾け、絶えず自分の仕事を見直します。

【プロフェッショナリズム】
PROFESSIONALISM
(プロフェッショナリズム)

わたしたちは、自らを磨き続け、常に高い品質のサービスを提供します。

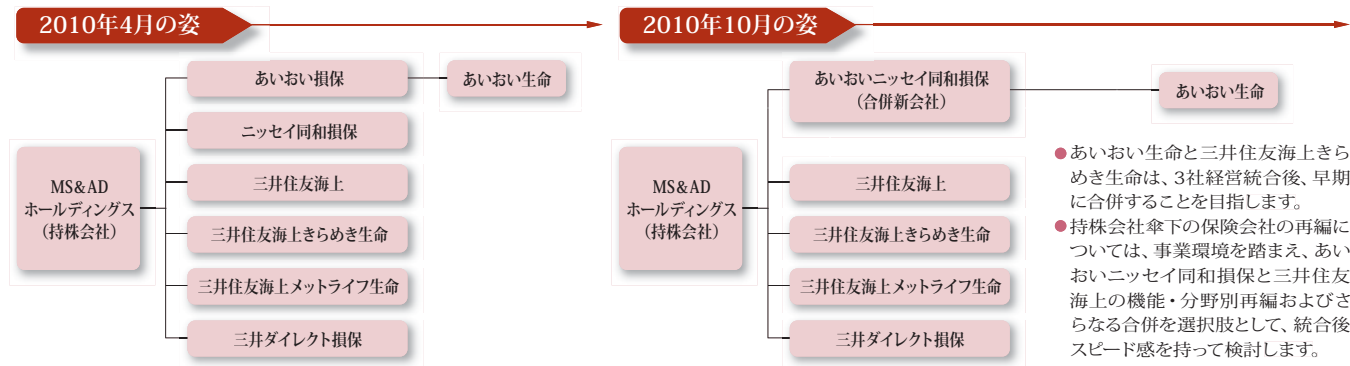
経営統合後の体制について

新持株会社（「三井住友海上グループホールディングス」から2010年4月1日に名称変更）

社 名：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

英文名称：MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

略 称：MS&ADホールディングス



基本戦略

1. 品質向上を通じて、お客様の信頼を獲得し、成長を実現する。

2. グループの総合力を結集してグループシナジーを追求し、収益力を格段に強化する。

3. 選択と集中による戦略的な資源配分を実施するとともに、健全な事業運営を行う。

4. プロフェッショナルとしてチャレンジする企業文化を醸成し、社員・代理店とともに成長する。

経営数値目標（「統合基本計画」(2009年9月30日発表)の掲載内容）

▼目標事業ポートフォリオ（単位：億円）（ ）内は構成比

	2008年度(実績)	2009年度(見込み)	2013年度(目標)
グループ利益指標※1	△271	410	1,500
国内損保	76	266 (65%)	1,000 (67%)
国内生保	△36	15 (4%)	150 (10%)
海外	△286	120 (29%)	300 (20%)
金融サービス/リスク関連サービス	△24	9 (2%)	50 (3%)

※1:グループ利益指標
グループコア利益=連結当期利益－株式資本利損益(売却損益等)－クレジットデリバティブ評価損益－その他特殊要因＋非連結グループ会社持分利益

▼目標数値（単位：億円）

	2008年度(実績)	2009年度(見込み)	2013年度(目標)
連結正味収入保険料	25,911	25,505	27,000
生保有契約年換算保険料※1	2,652	2,694	3,300
グループROE※2	－	2.5%	7%

※1:あいおい生命と三井住友海上きらめき生命の合算値(団体保険を除く)

※2:グループROE=グループコア利益÷期初・期末平均連結純資産(除く少数株主持分)。2008年度はマイナスにつき、非表示

業績ダイジェスト

(2009年度中間期：連結)

	2009年度 中間期	2008年度 中間期	増減額	増減率
経常収益	10,156	10,388	-232	-2.2 %
保険引受収益	9,316	9,469	-152	-1.6 %
正味収入保険料	7,104	7,570	-465	-6.1 %
資産運用収益	753	894	-140	-15.8 %
その他経常収益	85	24	61	249.1 %
経常費用	9,333	10,441	-1,107	-10.6 %
保険引受費用	7,645	8,274	-628	-7.6 %
資産運用費用	237	607	-370	-60.9 %
営業費及び一般管理費	1,409	1,483	-73	-5.0 %
その他経常費用	41	76	-34	-45.3 %
経常利益（又は経常損失（-））	822	-52	875	—
中間純利益	568	123	444	358.4 %
総資産	75,590	80,198	-4,607	-5.7 %
純資産	12,557	14,325	-1,767	-12.3 %

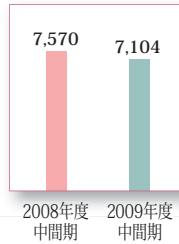
(単位：億円)

正味収入保険料

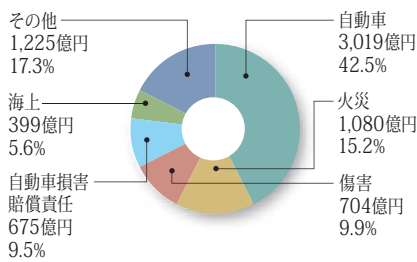
正味収入保険料は7,104億円と、前中間期と比べ6.1%の減収となりました。これは、三井住友海上（単体）の保険料収入が自動車損害賠償責任保険の減収を主因に減少したことに加え、海外保険子会社の保険料収入が円高により減少したことなどによるものです。

正味収入保険料

(単位：億円)



種目別構成 (2009年度中間期)

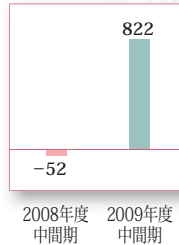


経常利益・中間純利益

連結中間純利益は、前中間期を444億円上回る568億円を計上しました。前中間期には、世界的な金融危機に関連して欧州保険子会社で大口の保険事故が発生しましたが、当中間期はその要素がありませんでした。そのため、海外子会社において大幅な増益になるとともに、三井住友海上（単体）においてほぼ前中間期並みの中間純利益を確保したことから、連結中間純利益も大幅な増益となったものです。

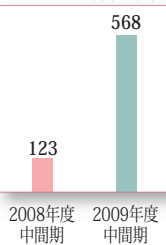
経常利益（又は損失）

(単位：億円)



中間純利益

(単位：億円)

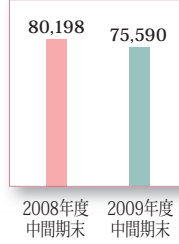


総資産

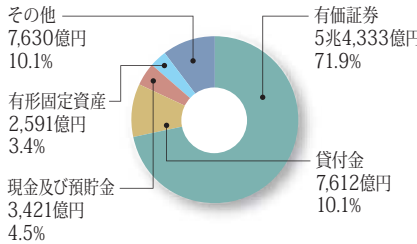
総資産は7兆5,590億円と、前中間期末に比べ5.7%減少しました。これは、この間に広がりを見せたグローバルな金融危機の影響により、株式・債券の保有時価などが減少したことなどによります。

総資産

(単位：億円)



総資産の構成 (2009年度中間期)

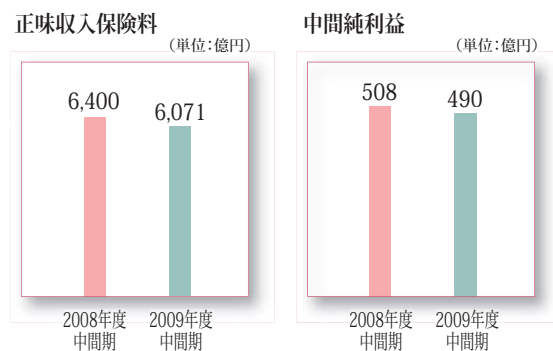


グループ会社の状況 (2009年度中間期)

三井住友海上火災保険

当中間期の状況

正味収入保険料は、料率引下げの影響で自動車損害賠償責任保険の保険料が大幅に減少したことなどにより、6,071億円と、前中間期と比べ5.1%減少しました。一方で、自然災害が前中間期と比べて少なかったことなどにより、発生保険金は減少しました。また、昨年の金融危機で世界的に高まった信用リスクが沈静化を見せたこともあり、資産運用収支は前中間期と比べ大きく改善しました。中間純利益は490億円と、前中間期を18億円下回りました。

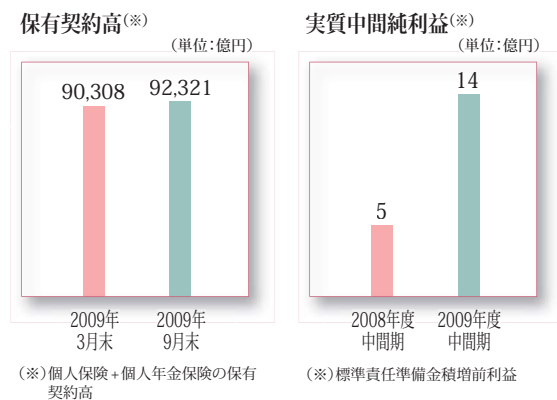


ソルベンシー・マージン比率 **799.0%** (2009年9月末現在)

三井住友海上きらめき生命保険

当中間期の状況

個人保障性商品の販売に注力した結果、収入保障保険および医療保険などの販売が伸展しました。当中間期末の個人保険・個人年金保険の保有契約高は9兆2,321億円となり、前年度末に比べ2.2% (前中間期末に比べ3.9%) 増加しました。保険業法施行規則の規定に基づいて所定の方式で計算した責任準備金のほか、保険業法上の標準責任準備金積立の達成に向け、当中間期も収益力をファンドに責任準備金22億円を積増しました。この積増により中間純利益は28百万円となりましたが、積増しがなかったと仮定した場合の実質的な中間純利益は14億円です。

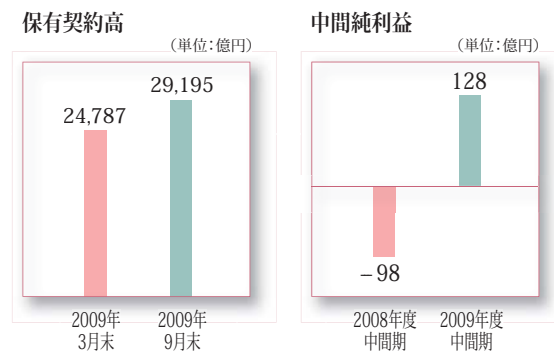


ソルベンシー・マージン比率 **2,092.4%** (2009年9月末現在)

三井住友海上メットライフ生命保険

当中間期の状況

変額個人年金保険と定額個人年金保険を事業の両輪とするバランスのよい個人年金保険ビジネスの展開を進める中、定額個人年金保険の品揃えを充実させるなど、当中間期もお客さまニーズの変化に対応してまいりました。収入保険料は昨年の金融危機の影響が続き前中間期と比べ18.3%減少しましたが、保有契約高は運用環境の回復などを背景に2兆9,195億円と、前年度末と比べ17.8%増加しました。中間純利益は、運用環境の好転に伴う資産運用益の増加などにより128億円と、前中間期と比べて227億円増加しました。

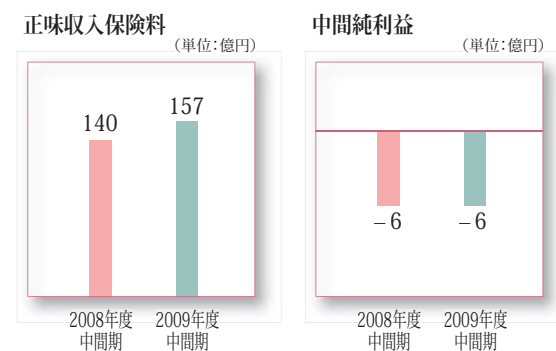


ソルベンシー・マージン比率 **941.8%** (2009年9月末現在)

三井ダイレクト損害保険

当中間期の状況

国内自動車保険市場が精彩を欠く一方で、通販各社間の競争も一段と激化するなど、業界を取り巻く事業環境は厳しさを増していますが、成長力の維持と「インターネット損保No.1」の評価・実績の確立に向けた施策を積極的に展開した結果、正味収入保険料は157億円と、前中間期を16億円上回りました。一方、中間純損益は6億円の損失となりました。年度ベースでの損失幅は事業費などの圧縮を通じ年々縮小しており、2010年度決算での単年度黒字化を目指しています。



ソルベンシー・マージン比率 **396.3%** (2009年9月末現在)

会社概要／役員／株式の状況

会社概要 (2009年9月30日現在)

社 名：三井住友海上グループ
ホールディングス株式会社
本店所在地：東京都中央区新川二丁目27番2号
設 立：平成20年(2008年)4月1日
資 本 金：1,000億円
従 業 員 数：21,983名(連結)

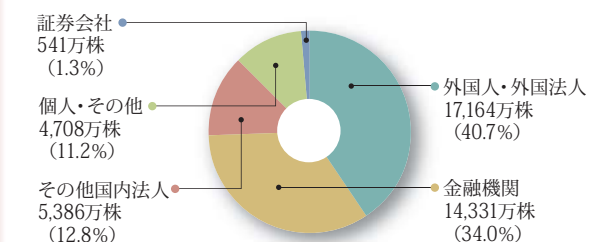
役員 (2009年9月30日現在)

取締役会長	秦	喜	秋
取締役社長	社長執行役員 江	頭	敏
取 締 役	副社長執行役員 浅	野	広
	副社長執行役員 近	藤	和
取 締 役	専務執行役員 遠	藤	勇
取 締 役	専務執行役員 柄	澤	康
取 締 役	専務執行役員 藤	本	進
取 締 役	常務執行役員 池	田	克
取 締 役	常務執行役員 市	原	朗
取 締 役	常務執行役員 兼	好	克
取 締 役	常務執行役員 堀	本	修
社外取締役	河	野	栄
社外取締役	頃	安	健
社外取締役	高		巖
社外取締役	関	俊	彦
常勤監査役	山	下	尚
常勤監査役	飯	島	至
社外監査役	安	田	莊
社外監査役	角	田	大

株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行済株式の総数 421,320,739株
株主数 48,073名

所有者別分布状況



大株主状況 (上位10名)

株主名	保有株式数 (万株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,470	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,310	5.5
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,332	3.2
日本生命保険相互会社	996	2.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	957	2.3
NATSCUMCO	932	2.2
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	746	1.8
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS	647	1.5
住友生命保険相互会社	607	1.4
住友商事株式会社	511	1.2

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎事業年度終了後3か月以内に開催いたします。
基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(注) 配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできませんので、お早めにお受け取りください。

株主名簿管理人
および特別口座の
口 座 管 理 機 関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事 務 取 扱 場 所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電 話 照 会 先) ☎ 0120-176-417

公 告 方 法 電子公告の方法により、下記ホームページに掲載
いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由
が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.msig.com/company/notification/index.html>

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

住所変更等のお届出およびご照会につきましては、原則として、株主さまが口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座を開設されていない株主さまおよび特別口座に記録された株式に関するお届出およびご照会につきましては、住友信託銀行株式会社にご連絡ください。

単元未満株式の買取・買増請求について

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の株主さまは、当社に対し、買取請求および買増請求を行うことができます。
(買取請求)
株主さまの単元未満株式を当社が買い取る手続きです。
(買増請求)
株式を当社から買い増していただき、ご所有の株式数を単元(100株)単位とする手続きです。

いずれのお手続きも売買手数料は無料です。ご希望の株主さまは、口座を開設されている証券会社(特別口座に記録された単元未満株式についてのご請求の場合は、住友信託銀行株式会社)にお問い合わせください。

MSIGスマイルハートクラブは、三井住友海上グループ社員の社会貢献活動団体です。

「MSIGスマイルハートクラブ」の活動



チャリティー・クリスマスカードによる子どもの支援活動

「子供地球基金」と協働でクリスマスカードを作成・販売し、収益金で世界の紛争・被災地域の子どもの支援をしています。

1992～2008年度の収益金累計：38,951,940円

2008-2009年版クリスマスカード・絵はがき

クリスマスカード・絵はがきを作成し、合計13,612枚を販売。印刷費を差し引いた収益金は1,463,348円となりました。

旧ユーゴスラビア地域の子どもの支援する予定です。

「女子柔道部・女子陸上競技部」の活躍

女子柔道部の上野順恵選手、中村美里選手が「世界柔道選手権大会」で金メダルを獲得!!

8月27日、28日にオランダ・ロッテルダムで開催された「世界柔道選手権大会」に日本代表として初出場した両選手が、ともに優勝し、金メダルを獲得しました。上野順恵選手（63kg級）は一回戦から決勝戦まで相手に1ポイントも許すことなく、すべて一本勝ちで優勝。中村美里選手（52kg級）は、決勝で北京五輪48kg級2位のヤネト・ベルモイ選手（キューバ）を破り、優勝しました。



中村 美里 選手



上野 順恵 選手

「第20回東日本実業団対抗女子駅伝競走大会」で4位入賞!!

11月3日に埼玉県で「第20回東日本実業団対抗女子駅伝競走大会」が開催され、4位に入賞しました。10連覇は逃しましたが、過去9回の優勝は大会最多記録です。本大会の結果をもって「第29回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会」（12月13日・岐阜）の出場権を獲得しました。



表紙のビジュアルについて



『一人ひとり一つひとつを大切に。』の思いから、ご覧になった皆さまに、ほのぼのと和んでいただけるように願いを込めました。生花をアップで狙いソフトフォーカスで表現した作品です。皆さまの感性でご覧ください。